

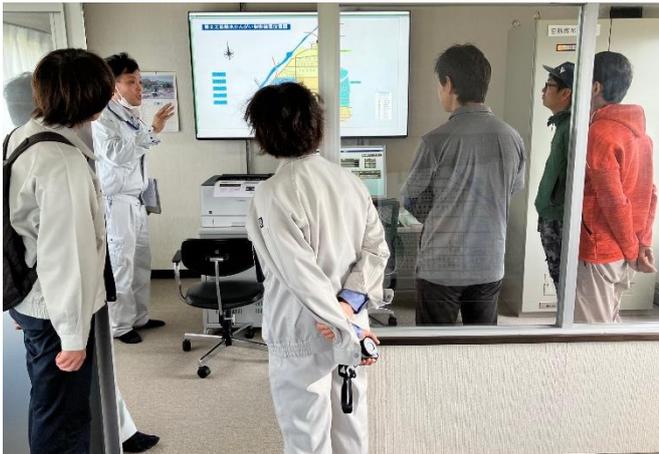
中信平左岸土地改良区の視察研修を開催しました

長野県農業士協会上小支部では、役員から「かん水施設の老朽化が著しく、農業者も進んで修理ができるようにしたい」といった話があったため、5月16日に先進的に取り組んでいる安曇野市の中信平左岸土地改良区の視察研修を開催し、会員3名が出席しました。

本地域は、梓川頭首工から取水した農業用水を、畑地帯は支線水路（パイプライン）による配水、水田地帯は開水路によるかんがいによって営農しています。

中信平左岸土地改良区は管理工区ごとに修理班があり、多面的機能支払い交付金を活用してかんがい施設の補修や更新を行っています。通水時期に水が通らない場所を把握し、主に4月から5月連休にかけて修理を行い、それ以降は計画的に施設の補修・更新を行っており、年間を通して作業を行っているといったお話をお聞きしました。

会員は積極的に質問をしており、「地域によって修繕・維持管理はどうしているのか知ることができてよかった」「大変勉強になった」との声が聞かれ、有意義な視察研修になりました。



視察研修の様子